

SAMPLE

特集レポート No. 042

高収益システムインテグレーターの研究

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

はじめに

- IT業界は企業の情報化にともなうIT投資の拡大と連動する形で成長してきた。特に、システムインテグレーター(Sier)は、複雑になった企業内システムを俯瞰して見ることができることもあり、重要性が増している
- 業界が成熟する一方で、企業の勝ち負けがはっきりしてきた。元来、顧客向けに個別のカスタマイズをし、労働集約的なビジネスモデル上の特徴をもつSI業界の収益性は低くなりがちであるが、独自の工夫により高収益を実現するプレイヤーが目立ってきている
- 本レポートでは、成功しているシステムインテグレーターの高収益の背景に迫るべく、オービック、野村総合研究所、フューチャーの3社を取り上げ企業研究を深める

本資料の流れ



I. システムインテグレーターの業界概要

II. 高収益プレイヤーの研究

1. オービック
2. 野村総合研究所
3. フューチャー

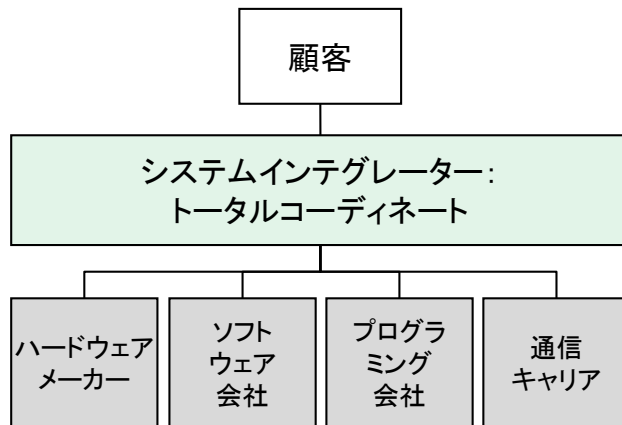
III. まとめ

システムインテグレーターの概要とシステム開発業界における位置づけ

- システムインテグレーターとは、ハードウェアメーカー、ソフトウェアメーカーなどの全体統括をする会社
- システムインテグレーターは企業の成り立ちによって大きく4つに分類される

システムインテグレーターとは

- 顧客の業務を把握し、課題解決のためのコンサルティングから設計、開発、運用・保守までの一部または全体統括をおこなうのがシステムインテグレーター（Sler）
 - 自らは発注企業からの主契約の相手（完成までの責任を負う）となり、個々の作業を副契約の会社（サブコントラクター）に発注する形態を取る（多重下請け構造）



システムインテグレーターのシステム開発業界における位置づけ

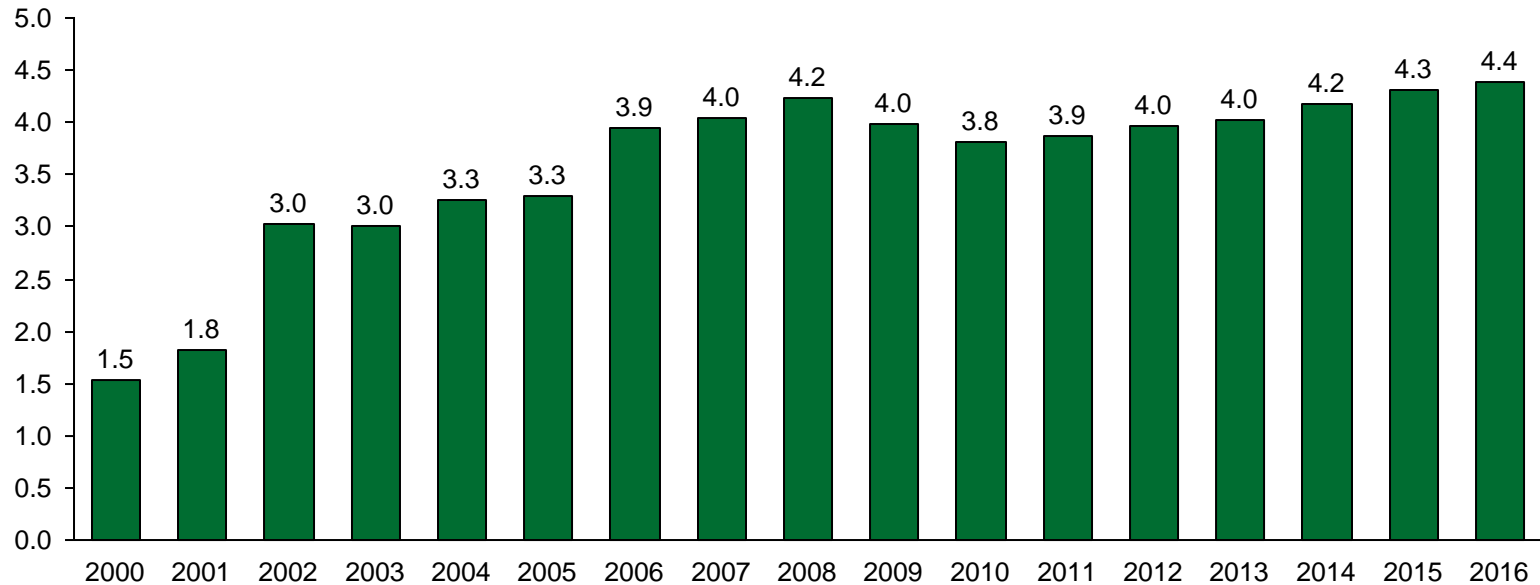
	定義	代表企業
システムインテグレーター (Sler)	<ul style="list-style-type: none"> ■ システム導入に関わるコンサルティングから設計、開発、運用・保守・管理までを一括請負 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本IBM ■ 富士通 ■ 日立製作所 ■ NTTデータ …など
各種受託システム開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業種を問わず、顧客の要望に応じ、オーダーメイドで開発 ■ Slerの二次請けベンダー、ユーザー企業から直接仕事を請ける 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アルファシステムズ ■ さくらケーシーエス ■ セゾン情報システムズ ■ クレスコ …など
システム開発業界 特定領域のシステム開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定業界向けにソフトウェアを組み込んだシステムを開発 ■ 通信関連、医療情報、金融機関向け、CAD・CAMシステムが主な領域 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アイ・エス・ビー(通信) ■ シーエスアイ(医療) ■ エックスネット(金融) ■ アルゴグラフィクス(CAD) …など
ソフトウェアベンダー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 受注、販売、物流、購買、会計等の基幹業務機能をコンピュータソフトウェアの機能上で動かすパッケージシステムを自社開発 ■ 関連Webサービスの提供も含む 	<ul style="list-style-type: none"> ■ SAP ■ Oracle ■ TKC …など
IT保守サービス	<ul style="list-style-type: none"> ■ インフラ、アプリケーションなどの保守サービスをおこなう ■ システム構築を主とし、保守業務を兼業する企業は本業界から除く 	<ul style="list-style-type: none"> ■ NECフィールディング ■ 富士通エフサス ■ 日立システムズ ■ ユニアデックス …など

システムインテグレーション市場の概況

- 国内のシステムインテグレーション市場は2000年から大きく発展を遂げ、現在、安定的な市場規模で推移している

システムインテグレーション市場規模(売上高)の推移

(単位: 兆円)



IT業界の トレンド

2000年代

- 2000年代のERPの大規模導入、SCM*1、CRM*2等の大型プロジェクトが多かった
- システムユーザー数の急増
 - PC一人一台に
- WEB技術の浸透

2010年以降

- クラウドの普及

近年の傾向

- 大型プロジェクトの減少、プロジェクトの小型化・短期間化
- クラウド化により、ユーザー企業がサーバー周りのリスクから解放された

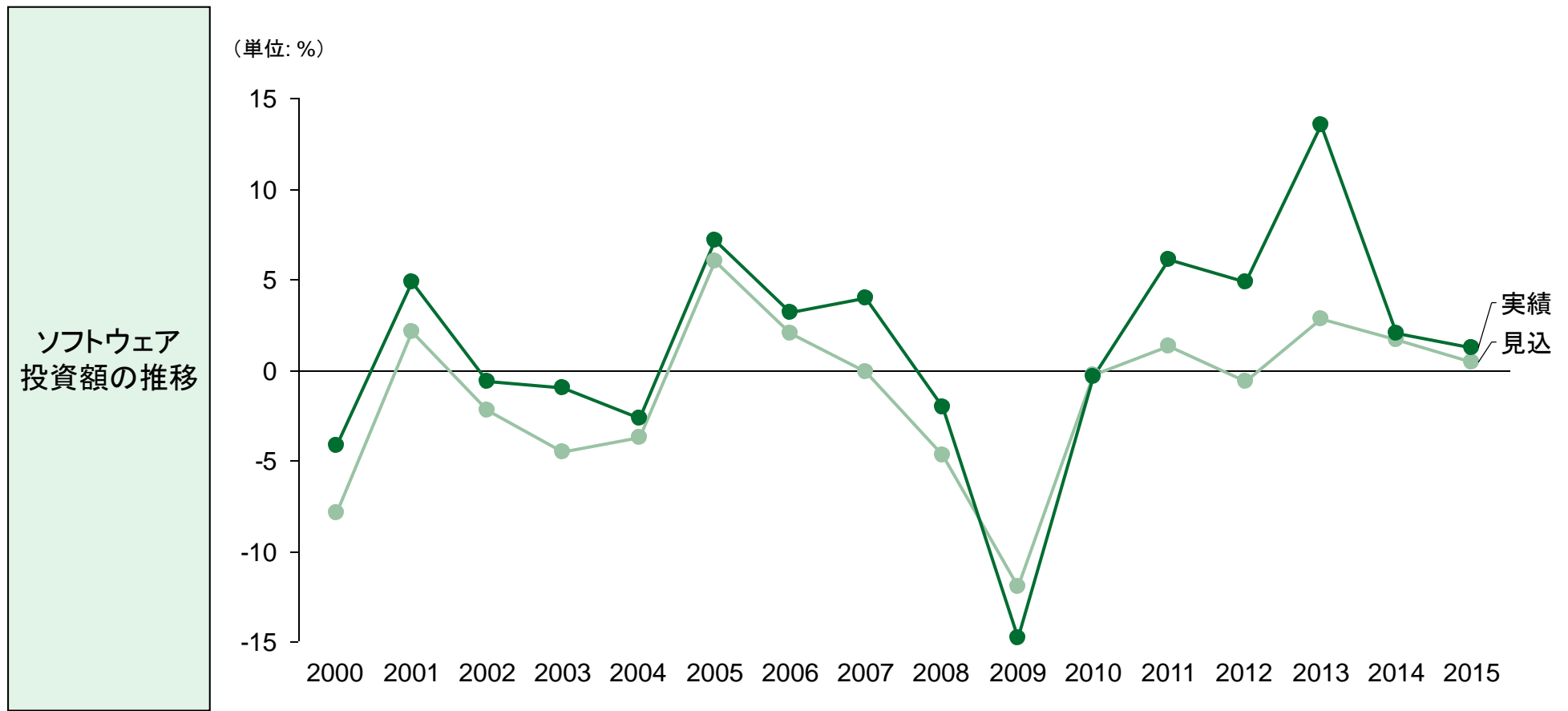
注: *1. SCM: **S**upply **C**hain **M**anagement

*2. CRM: **C**ustomer **R**elationship **M**anagement

出所: 経済産業省「特定サービス産業実態調査」

ソフトウェア投資額の推移

■ リーマンショックにより落ち込んだソフトウェア投資額はここ数年は安定して前年比を上回って推移している



■ J-SOX法への直接投資及び
企業統治にともなうIT投資等

出所: 日本銀行「短観(全国企業短期経済観測調査)」

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

